

# こんにちは ブラインテックです

## 第60回 実践女子学園中学校・高等学校 図書館 2011年4月

東京都渋谷区の文教地区。周辺には小学校や大学などの教育機関や大使館はじめ常陸宮邸もあり、駅前の喧騒とは雰囲気を変にする閑静なエリアとなっています。渋谷駅からは徒歩15分程度、そこには25,000平方メートルの緑豊かな広大な実践女子学園中学校・高等学校の校地が広がっています。

今年で創立111年目を迎える伝統ある中高一貫女子教育の学園にて、今日は司書教諭の脇野様にお話をお伺いしました。

### ——まず始めに、貴学園のご紹介と特色をお伺いできますか。

当学園は、明治32年に女子教育の先覚者である下田歌子氏によって実践女学校・女子工芸学校として創設されました。学園全体の建学の精神として、「品格、高雅、自立、自営」を掲げ、「堅実にして質素、しかも品格のある女性の育成を目指す。これがため、生徒は良識を養い、実践を尚び、責任を重んずることを、日常の心がけとする。」を教育方針としています。

現在学園が目指していることとしては、従来からの教育の3本柱である「キャリア教育」「感性表現教育」「国際交流教育」に「学力改革」を加えたものです。これによって、生徒一人ひとりが25年後の生き方を思い描き、自らの人生にいかに関心を持てるか、その真の人間力を6年一貫の教育プログラムでサポートします。さらに、平成20年からは従来の「スタンダード実践クラス」に加えて、国際学級である「グローバルスタディークラス」を設置し進展する国際化や多様化する進路希望にも対応しています。



### ——ライブラリーとキャリア学習室のあるメディアセンターは、平成17年3月に完成した新校舎“桃天館（とうようかん）”の2階にあるのですね。

そうですね。中庭を囲むようにして、窓の多い明るく開放感のある造りになっています。教室とは異なる親密な人間関係が生まれ、多様な空間となるように企図しています。

蔵書数は約11万冊。そのうちの25,000冊を開架書架に並べています。その書架はL字型になっており、その角部分は「プレゼンテーションピット」と呼ばれるスペースがあります。このスペースは閲覧室としてだけでなく、授業でのプレゼンテーションやグループディスカッションの場としても利用される多機能スペースとなっています。

また、キャリア学習室は生徒が利用できるパソコンが46台設置され、インターネットを使った情報検索ができます。ジャパンレッジや朝日けんさくくんといった有料のデータベースも契約しており、まずはそれらを使って検索するように伝えています。先生方が授業でインターネットだけに頼らないよう指導してくださったおかげもあり、インターネットで調べた後、ヒットした資料を館内から探して使う生徒も出てくるようになり、ようやくインターネットと図書館資料の共存ができるようになりましたね。



### ——図書館の役割として2本柱を掲げているそうですが、その具体例も交えてご説明いただけますか。

一つは、「探求型学習支援の場」としての機能です。授業の中で図書館や図書館の資料を利用するケースです。最近では1日平均3コマ、多い時には6コマ（終日）利用されていることもありますね。こうして授業で利用するとその前後の時間帯に本を借りる生徒が増える傾向にあります。

実は、授業で図書館を使うことは、当初文学系の教科以外では決して多くは



ありませんでした。しかし、ある時、理科の教員が環境問題をテーマに調べて学ぶという話を小耳に挟んだことから、私が新聞をスクラップした関連記事を教員に渡したことで、教員に図書館は文学だけではないこと、図書館による学習支援の意義、といったものを理解してもらうことができました。

もう一つは、「読書習慣づけの場」としての機能です。活字離れを危惧しているので、図書委員を中心とした子どもへの読み聞かせボランティア、朗読会の開催、「お勧めの本100」や生徒による選定図書資料などの配布、朝読書などをして、活字に親しみ、読書を習慣化できるような環境づくりに努めています。以前は「朝読書」の時間の直前に慌てて図書館に本を借りに来る生徒が多かったのですが、最近は多くの生徒が事前に自分で読む本を用意し、持ち歩いているようです。

利用率や利用冊数等の統計を行っていますが、ここに現れる数値も年々アップしています。読書の習慣ができてきたと言えると思います。

——生徒たちによる図書委員活動が盛んなようですね。その図書委員と図書館との連携について教えてくださいませんか。

はい、図書館の運営だけではなく、生徒たちの読書の習慣づけのために大事な役割を担っているのが図書委員会です。先ほど図書館の役割でもふれましたが、読み聞かせや朗読会の企画は図書委員会が行い、実際の読み聞かせなどは一般の生徒が行っています。興味ある多くの生徒が関わるので、とても活気がありますね。他にも、年2回図書館報「らいぶらりい」を編集・発行したり、古本市、新着本案内、カウンター当番、お勧め本のコメント書きと飾り付け、生徒による選定図書の購入なども行っています。また、他校の図書委員同士の交流を図り、お互いの図書館を行き来して、それぞれの良いところを取り入れています。



——情報館導入時期とその効果についてお聞かせください。

平成17年に図書館の建物が竣工されたのですが、その際にそれまで手書きの台帳で管理されていた図書資料をデータ化し、情報館を導入しました。総合管理端末を4台と情報館 WebOPAC です。当時のデータ入力は業者へ委託しました。

生徒たちは、WebOPAC などは特別にその使い方を教えなくてもそれぞれ検索して使っているようです。

総合管理端末の画面は見やすいと思いますし、情報館からテキスト出力が可能なので、MicrosoftExcel などを使った作業も行えて、助かっていますね。ただ、細かい点の操作性をもう少し統一するとより使いやすくなるかと思っています。



——これからも気になった点や不明な点などがあれば、お知らせください。迅速かつ丁寧なサポートを心掛けてまいります。

今後の貴学園の女子教育のさらなる充実とご発展を心よりお祈り申し上げます。本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。

\*\*\*\*\*

## 実践女子学園中学校高等学校 図書館

〒150-0011 東京都渋谷区東1-1-11  
TEL : 03-3409-1771  
<http://www.jissen.ac.jp>

